

# 目次

## Part 1

第0講 イントロダクション・傾向分析

第1講 方程式・不等式総合

第2講 整数問題総合

第3講 微分・積分 part 1

第4講 微分・積分 part 2

第5講 微分・積分 part 3

第6講 図形問題総合

第7講 軌跡・領域

## Part 2

第8講 場合の数・確率 part 1

第9講 場合の数・確率 part 2

第10講 ベクトル

第11講 数列

第12講 総合演習 part 1

第13講 総合演習 part 2

※問題数は、各講3題ずつで、合計39題です。

# 第0講 イン트로ダクション・傾向分析

## 1 講座の概要

### (1) 対象

大阪大学を目指す方(主に文系)向けの講座です。もちろん、理系の方や他の大学を志望する方に受講していただいても構いません。

### (2) こだわり

#### その1 問題を精選! :

約50年分の過去問の中から、重要な問題や本番で差のつきそうな問題を集めました。一部、阪大理系の過去問や、他の大学の過去問も含まれています。

#### その2 分野別! :

大学別対策講座というと、年度別に問題を扱う講義も多いのですが、分野別に問題を扱った方が効率的だと思います。ですので、この講座では目次の通り、分野別に過去問を解説していきます。

#### その3 綿密な傾向分析! :

最新の阪大文系数学の傾向をふまえ、テキストをつくっております。毎年出題される微分・積分や、ほぼ毎年出題される場合の数・確率の分野は、他の分野よりも多くの問題を扱っております。

#### その4 答案の道筋・必要な知識が学べる! :

授業は、解法のプロセスに重点をおいて解説します。さらに、問題を解く上で知っておかなければならない知識や計算のコツなどを適宜、紹介していきます。授業で紹介した知識や計算のコツを習得すれば、確実にレベルアップできるはずです。

## 2 予習・授業・復習について

### (1) 予習

テキストを「資料」欄からダウンロードして印刷したうえで、問題を解いてください。目安としては、大問一問につき、30分です。

### (2) 授業

授業では、解法のポイント・ワザ、方針などを黄色 or オレンジ色 or 赤色のチョークで、答案を白色のチョークで板書します。黄色 or オレンジ色 or 赤色のチョークで板書した内容については、テキストの「★☆☆解法のPoint・方針☆☆☆」の欄に書いてください。

### (3)復習

まず、テキストの「☆☆★解法のPoint・方針☆☆☆」の欄にメモしたことを覚えてください！！その上で、予習の段階で解けなかった問題については、繰り返し解きなおすことをオススメします。

## 3 傾向分析

●微分・積分の問題は毎年、出題されます。特に、面積を求める問題は頻出です。難易度は、他の分野の問題に比べると易しめであるため、十分に練習を積んでおく必要があります！

●場合の数・確率の問題は、ほぼ毎年出題されます。近年は、関数との融合問題も見られますが、さほど難しくはありません。ちなみに、最近、確率漸化式の出題は見られません。

●その他の頻出事項としては、整数・図形と方程式・ベクトル・数列などがあります。

●難易度としては、近年易化傾向にあると思われませんが、年度によってばらつきがあるので注意した方がよいです。とりわけ、2014年度の問題は易しめでしたので、この年の問題に照準をあわせて勉強するのは危険です！